

**「新・仙台市環境行動計画」
平成30年度環境監査報告書**

**平成30年11月2日
仙台市環境監査委員会**

平成30年8月22日、27日、29日の3日間で実施した環境監査の結果について、以下のとおり取りまとめましたので報告します。

1. 総合所見

平成18年度から運用開始された「新・仙台市環境行動計画」は第11版を重ね、継続的に見直し・改定を図り、環境マネジメントシステムの質の向上及び運用の改善を図ってきた。そして市職員の更なる環境への意識の向上と行動により活動が着実に実行され、同計画に定めた取り組みが多くの特長で浸透し成果を挙げている。

平成29年度の環境負荷の削減活動については、特殊な要因を除くと、目標としている平成22年度実績に概ね近づきつつあり、特に、ここ数年大きな課題としていた庁内の一般廃棄物排出量の増加の問題も、減少に転じてきていることが確認できた。

一方で、環境関連法規制について改正情報の把握漏れが確認されるなど、一部、改善に向けた取り組みが必要である。

「新・仙台市環境行動計画」は見直しの時期となっているが、近年の環境分野の社会の変化は大きく、世界的な取り組みも進んでいるため、こうした社会情勢等も踏まえながら目標や内容を見直し、他都市の模範となる環境先進都市に相応しい計画となることを期待する。

1-（1）評価できる点

- ・計画に基づき、施設を管理する団体等も含めた取り組みが行われている。
- ・各部署における独自目標については、目標の件数の増加や、内容の充実が図られている。
- ・エネルギー使用に関しては、職員の節電の取り組みは十分に実施されているほか、ハード面での対策などにより、成果が表れている。
- ・一般廃棄物排出量については、全庁的に対策を強化しており、職員自らの分別状況のチェック等の実施により、減少に転じている。

1-（2）改善及び検討を要する点

①環境関連法規制について

各部署・施設に適用される環境関連法規制については、現在は事務局が作成する「法規制一覧」を参考に、各部署が該当法令を把握し、「法的要求事項登録簿」を作成することになっている。

廃棄物処理法の水銀廃棄物の取り扱いに関する改正内容については、平成29年度中に事務局が実施した施設管理担当者向けの研修では説明を行っていたが、平成29年度末に事務局が作成した「法規制一覧」においては、その内容が明記されていなかった。その結果、水銀廃棄物の取り扱いについて把握していない部署があったため、事務局からの通知を行うなどの対応が必要である。

②産業廃棄物のマニフェストについて

複数の部署において、産業廃棄物のマニフェストの記載や保管の方法等に関して担当者の理解不足が見受けられたため、実務的な研修を実施することを推奨する。

③独自目標の設定について

各部署の独自目標については、本来業務に関連した特色ある目標を設定する部署が増えて
いる一方で、特にオフィス系の部署等で、紙やごみ、電気に関する目標に留まっている部署
も散見された。

計画の基本指針に則り、業務執行の効率化により環境負荷の低減を図るという視点から、
目標を検討されたい。なお、他のオフィス系の事業者では、本来業務の効率アップと電気使
用量の削減につながる「超過勤務時間の削減」なども目標として設定されることが多いため、
参考とされたい。

④実績集計や要因分析について

環境負荷の実績に関し、実績集計のルールが統一されていない部署があったほか、要因分
析については、実際の増減要因が報告様式に適切に記載されていない部署が散見されたため、
事務局から指導されたい。また、実績集計や要因の分析については、絶対量のみの評価や、
外的要因のみ分析等に留まっている部署がほとんどであるため、原単位を用いた評価や、
自らの取り組みの効果の分析が行われるような工夫についても検討されたい。

⑤次期計画の内容の検討について

計画の改定に当たっては、社会情勢等も踏まえた目標や内容の見直しを検討されたい。

特に、現計画では、購入電力量を目標項目とし、その評価や分析を行っているが、国の約
束草案等も踏まえた二酸化炭素排出量の削減目標の設定について推奨する。

2. 被監査局・区等に係る所見

【被監査局・区等】

財政局（庁舎管理課）、健康福祉局（総務課）、経済局（中央卸売市場管理課）、建設局（八木山動物公園）、青葉区宮城総合支所（総務課）、泉区（総務課）、消防局（管理課）、教育局（科学館）、市立病院（総務課）

計9局・区等

2－（1）財政局（現場監査：庁舎管理課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

〔優良事項〕

- ・独自目標として共用自転車の利用促進を設定し、自転車の利用回数、走行距離を把握し、記録するために、自転車に走行距離メーターを取り付けていた。
- ・産業廃棄物保管場所には、入り口に「廃棄物搬入記録簿」が設置され、搬入月日、搬入者名、品名、規格、数量を記載することにより、適正処理と整理整頓への意識高揚が図られていた。
- ・給湯室に設置された分別ボックスへの正しい分別を図る仕組みとして、ごみの出し案内（分別順序）の表示に合わせて、分別ボックスが設置されていた。

〔推奨事項〕

- ・環境負荷の実績について、庁舎内の職員数などを踏まえた原単位による評価なども検討されたい。

2－（2）健康福祉局（主管課監査：総務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

〔優良事項〕

- ・給湯室の分別チェックの結果を集約し、実際の分別状況の写真も交え、年4回、局内に掲示板で周知していた。
- ・局所管の一部の福祉施設において、温度計に加え、暑さ指数の掲示などを実施していた。

〔推奨事項〕

- ・局としての環境負荷の実績としては、市民利用施設におけるエネルギー・資源の使用、一般廃棄物の排出が大きな比率を占めることから、指定管理者や利用者への協力要請を含めた節水や廃棄物の分別の徹底等の取り組みを検討されたい。

2－（3）経済局（現場監査：中央卸売市場管理課）

①評価

指摘事項なし

②意見

[優良事項]

- ・市職員及び市場内の常駐事業者等とで構成する環境委員会を設置し、市場全体にごみの排出に関する協力依頼を行うなど、市場全体の環境保全に尽力していた。

[推奨事項]

- ・マニフェストの一部に記載漏れの箇所があるなどの状況が確認された。適切な運用管理のため、マニフェストにおける排出事業者としての役割や運用について再確認されたい。
- ・独自目標については、出入りの事業者に環境負荷の低減について働きかけることなど、施設の特性に合った独自目標を設定することを推奨する。

2－（4）建設局（現場監査：八木山動物公園管理課）

①評価

指摘事項なし

②意見

[優良事項]

- ・「東日本大震災の津波で被災した名取川河口域のメダカの野生個体群復元」活動を行い、種の保全に貢献していた。

[推奨事項]

- ・産業廃棄物仮置き場付近が乱雑であったため、整理されたい。
- ・環境負荷の実績について、入場者数や動物の個体数等を踏まえた原単位による管理なども検討されたい。
- ・ふれあい館を活用した環境教育や各種イベントなど、市民に親しまれる施設運営という本来業務に直結した独自目標設定について検討されたい。

2－（5）青葉区宮城総合支所（主管課監査、現場監査：総務課）

①評価

指摘事項なし

②意見

[優良事項]

- ・環境負荷の経年推移では、業務量及び職員数が増加傾向にありながら基準年度比で着実に低減されていた。色々な施策の実施による職員の意識の向上の成果であり、結果について支所内の職員へも是非周知されたい。
- ・ごみの分別状況のチェックについては、全職員が関わるような仕組みとしていた。

[推奨事項]

- ・マニフェストのA、B2、D、E票が別々のファイルに保存されており、マニフェスト返却の確認が確実に行われたか見落とすことが懸念されるため、照合欄への確実なチェックの徹底か、別に返却確認台帳等を作成し洩れの無いよう管理することを推奨する。

2－（6）泉区（主管課監査、現場監査：総務課）

①評価

指摘事項なし

②意見

[優良事項]

- ・市民と協働で、継続的に泉中央駅近辺の清掃活動や七北田側周辺のクリーン化運動を行っていた。
- ・新規採用職員等に対して、定期的に泉区の環境への取り組みを理解してもらう場を設けており、職員の意識の維持向上に努めていた。

[推奨事項]

- ・職員インタビューでは環境への取り組みに対する理解と意識の高さは感じたが、推進員等から職員に対して、自分達の活動がどう結果につながっているかを実績値等を含めて周知することを推奨する。

2－（7）教育局（現場監査：科学館）

①評価

[改善]

- ・廃棄物保管場所に廃棄物処理法に基づく保管場所の掲示がなされていなかったため、速やかに設置されたい。

②意見

[優良事項]

- ・自然換気や、ミストシステムの導入による空調の効率化を実施していた。
- ・既存の備品や設備を使用し、地元環境団体の調査結果を科学館の展示物として発表できるようにすることで、子供たちの環境教育の資料として活用する努力をしていた。

[推奨事項]

- ・劇物・毒物として特別管理すべき化学薬品については、施錠して管理はされていたが、その他の化学薬品と一緒に保管されていた。それぞれの薬品の保管条件を改めて確認し、より適切に管理されたい。
- ・マニフェストの一部に記載漏れの箇所があるなどの状況が確認された。適切な運用管理のため、マニフェストにおける排出事業者としての役割や運用について再確認されたい。
- ・独自目標については、子供たちへの環境教育に関するものなど、科学館ならではの目標を設定することを検討されたい。

2－（8）消防局（主管課監査、現場監査：管理課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・消防局の所管業務が環境に与える影響の特色とその大きさについて明確に認識していた。

[推奨事項]

- ・消防局の事業概要における「主な事務事業の概要」は、良くまとめられており、内容としても環境活動の目標の指針となるものであるため、これを踏まえた独自目標の設定を検討されたい。

2－（9）市立病院（主管課監査、現場監査：総務課）

①評価

指摘事項等なし

②意見

[優良事項]

- ・コージェネレーションシステムの増設や地下水の有効利用、省エネ委員会の立ち上げなど、様々な角度から、高い次元で環境保全に取り組み、成果をあげていた。
- ・地下の動力室や廃棄物保管場所は隅々まで整理、整頓、清潔が行き届いていた。

[推奨事項]

- ・新・仙台市環境行動計画で作成することとしている環境に関する緊急事態対応計画書は数件作成されていたが、実際の訓練はここ数年実施されていなかった。大規模総合病院であり、自らがリスク大としてピックアップしている項目なので、計画的に実施することを推奨する。
- ・病院として、医療の質の向上と環境負荷の低減を図る上では「効率」がポイントであるという認識であったことを踏まえ、業務効率に関する独自目標を多くの部署で設定することを期待する。

仙台市環境監査委員会名簿

(五十音順、○印：委員長)

氏 名	所属・職名
加藤 保世明	みちのく環境管理規格認証機構 評価員・審査員
佐藤 弥	リコージャパン株式会社 ICT事業本部 ICT技術本部 コンサルティング推進室
○ 中田 俊彦	東北大学大学院工学研究科 教授
早川 俊郎	東北緑化環境保全株式会社 技術部 技術運営グループ I S O担当部長
溝口 忠昭	みやぎ環境カウンセラー協会 代表
横山 俊彦	せんだいE - A c t i o n 委員